



Rotary



2016-2017 年度

国際ロータリー会長 / ジョン F. ジャーム
2690 地区ガバナー / 庄司 尚史

会長 / 田中 浩史 副会長 / 佐々木 哲也
幹事 / 小汀 泰之 会計 / 黒田 昌弘

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365 / IP : 050-5204-5816
URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
8月31日	第2690地区ガバナー 庄司 尚史 様	ガバナー公式訪問 大社・平田RC合同例会
9月8日	公益財団法人 隊友会 島根県隊友会 会長 持田 佳郎 様	憲法改正論議 何故、今を考える
9月15日	山陰中央新報社 出雲総局 報道部 森田 一平 様	

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
42	24	18 (6)	66.66 %	84.21 %

■欠席者

福田 / 原孝 / 堀江 / 飯塚俊 / 石原輝 / 加藤昇 / 小村 / 大谷良 / 清水 / 園山 / 杉原 / 山口
(山根 / 牧野 / 板垣 / 伊藤 / 遠藤 / 田中久)

■来訪者

庄司ガバナー・松本随行幹事
8/25 浅津・本常・吾郷(出雲南)
新宮・堀江・中田(松江しんじ湖)

■メイクアップ

8/24 高砂・持田稔・大島卓(大社)
8/26 持田稔・大島卓(出雲南)

■次回例会受付当番

(9月15日) 持田稔樹 / 福田磨寿穂 / 河原治子
(9月29日) 持田祐輔 / 原 孝士 / 堀江卓男

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	9/26	松江南	9/12
火	出雲	9/20(-) 10/11(-) 10/18 10/25 11/22(-) 12/13 12/27(-) 1/3(-)	松江しんじ湖	9/13 9/20
水	大社	8/31	松江	9/14
木		(-) ; ビジター受付 なし	松江東	
金	出雲南			

■会長挨拶

大社 RC 会長 小田基明 様

皆さんこんにちは。先日からの雨で暑さも一段落と言ったところで、東日本では台風が連続し被害が出ているようです。台風が同じような場所に続けざまに上陸することも少ないですが、特に今回の台風 10 号は、皆さんご存知のように、関東の南で発生し、南西、のちに北東に移動しながら発達し、東北地方を襲っています。日本近海でも台風が発生し強い勢力に発達することを示しており、日本が台風被害をこれまで以上に受けやすくなってきた気がします。仕事から、災害現場を見る機会が多く、テレビの映像などを見ながら、つい過去のひどかった被害の光景を思い出します。今回の台風被害がひどくないことを祈りたいと思います。

さて、8 月も今日で終わり、私が会長になって丸 2 か月が経過したことになります。この間、様々な場面で会員の皆さんにはロータリー活動へのご協力をいただき、ありがとうございました。初例会、会長スピーチ及び各委員会の活動計画の発表、稲佐の浜の清掃奉仕、家族会、ガバナー補

佐公式訪問、5 クラブ合同例会、そして今日のガバナー公式訪問と、毎週何がしかの行事がありました。結果、暑い夏も私的にはあつという間に過ぎてしまいました。諸先輩から、「あつという間に 1 年間過ぎてしまうから」と言われておりましたが、確かにこの 2 か月は早かった気が致します。それでなくてもこの最近の時間の経過が速くて困っていましたが、ますます早くなると釣りに行く時間が無くなるのではと心配しています。

暑かった今年の夏は、さらにオリンピック、高校野球、高校総体、爆走中の広島カープなど、体育系の熱い戦いが各地で繰り広げられました。私は普段余り積極的にスポーツをしたり見たりするほうではありませんが、それでも今年はスポーツ番組や新聞記事を見る機会が多かったです。多くの選手が競い合い、ごく一部の選手が栄冠を手に入れています。ただ、敗れた選手も積み重ねた練習の中で得るものもあったのではないかと思っています。

そんな日本中がヒートアップした夏も終わり、実りの秋を迎えようとしています。7 月に知識不十分で本来のロータリー活動が十分に出来るのか、このまま進めていって良いのか不安な気持ちで新年度がスタートしました。スタートの時に、勉強しながら頑張りますと言った私が、この夏に何も得るものがなかったなどということがないように、この後の庄司ガバナーのスピーチに耳を傾けたいと思いますので、つまらない挨拶はこのあたりで終わりたいと思います。失礼いたしました。



■バナー交換



■スマイル

庄司尚史ガバナーよりスマイルを頂きました。

全員 (庄司尚史ガバナーの公式訪問を喜んで)



■■■ スピーチ・例会行事 ■■■

ガバナー公式訪問 大社RC・平田RC合同例会

国際ロータリー 第 2690 地区ガバナー

庄司 尚史 様

境港RCの庄司尚史でございます。私の曾祖母は広瀬、祖母は大東、母親は平田、家内は松江、また私自身も中学・高校は松江ですので、どちらかというと鳥取県より島根県の血が多く流れている男です。



本日例会前に大社・平田それぞれ会長・幹事懇談会を行いました。今日私から一番お願いしたいことは、実は、現在決まっているガバナーエレクト・ガバナーノミーの次のガバナーが第4グループに回ってきますので、是非ともどなたか手を挙げていただき、引き受けていただきたいということです。大社RCの小田会長からも大変前向きなお話を聞きましたし、平田RCの田中会長も協力するというお話ですので、前向きにお取組んでいただきたいと思っております。

境港も近年、水産基地の街から観光の街に変わりつつあります。水木しげるロードができて20年になります。ピークはNHKの連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」が放映された時で、人口3万5千人の街に370万人のお客さんがいらっやいました。商店街の振興策として、当時の通産省から500万円の予算がつき、妖怪のオブジェを並べました。近年は若干少なくなりましたが、それでも200万人くらいの来客者です。出雲大社の遷宮に合わせて、境港に足を伸ばされた方もあり、大変お世話になった印象を持っています。

さて今日は今年度の国際ロータリー(RI)のテーマと方針、地区の方針についてお話させていただきます。ジョンF・ジャームRI会長はアメリカテネシー州のチャタヌーガRCの所属で、ロータリー歴は40年、RIの要職を歴任されています。今年度のRIテーマは「Rotary Serving Humanity ; 人類に奉仕するロータリー」で、至ってシンプルでベーシックです。

ロータリー財団は今年度100年を迎えます。1917年のアトランタ国際大会で基金の設置が提案されたのが始まりで、最初の寄付は26.5ドルだったわけですが、現在は日本円で年間300億円近い金額が集まります。特に1947年、ポール・ハリスが亡くなった際に、世界から追悼の寄付が100万ドル以上集まり「ポール・ハリス基金」ができました。初めてのプログラムは「高等教育のためのフェローシップ」で、特に1985年には「ポリオ・プラスプログラム」がスタートしました。1960年に日本でポリオが大流行した際、当時のソ連から超法規的措置でポリオワクチンを輸入したのが鳥取県出身の古井喜実厚生大臣であり、当地区にはご縁があります。ポリオ撲滅は今年度RIの最重点課題とされ、ジョンF・ジャーム会長は今年度をポリオ発症最後の年にしたいと言われています。

ロータリーの歴史を振り返ってみます。1905年にポール・ハリスがシカゴでロータリーを立ち上げました。3年後には2番目となるサンフランシスコRCができ、5年後の1911年に我々ロータリーの理念と言うべき言葉「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」、「超我の奉仕」が発表されました。ロータリーの理念は急速に世界に広がり、1920年には東京RCが誕生しています。今年度現在、会員数が123万人を超え、クラブ数は35,000になっています。

1911年にシカゴRCでは、親睦や相互扶助を優先しようとする「親睦・互惠派」と、奉仕活動を積極的に行なおうとする「奉仕・拡大派」との間で

対立がありましたが、この融和を図るためにロータリーソングが始まりました。この対立を憂慮したポール・ハリスは、ロータリーの寛容論を発表しました。ロータリーで一番大切なのは寛容であることで、「ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿る」と言っており、まさにクラブ運営の要諦だと思います。

2010年にRIは戦略計画を発表しました。これに基づいて今年度の地区のスローガンを「地域のため 世界のため」とさせていただきます。我々ロータリアンは職場や地域のリーダーです。そういうメンバーが集まってクラブを形成しているわけですが、ひとりひとりが元気だとクラブも元気になります。クラブが元気だと地域も元気になり、それが国際ロータリー120万人のネットワークに繋がっていくと思います。

具体的に、地区目標として会員増強(純増3%)、RI会長賞の取得、ポリオプラスへの寄付 30ドル/人、ロータリー財団への年次寄付 150ドル/人、ロータリーカードの普及、米山記念奨学会への支援(普通寄付 5,000円/人、特別寄付 10,000円/人)、財団100周年記念チャリティーイベントの開催、地区補助金の活用(40件以上)の8項目をあげております。

今年4月に規定審議会が開催され、3年に一度、RIの規定が改正されました。主な決定事項のうち、たとえば「クラブ入会金規定の削除」ですが、標準クラブ定款からは入会金という言葉は消えますが、クラブ細則においてはクラブに裁量を与えられており、自由に決めることができます。また例会頻度は、「最低1ヶ月に2回は開催しなければならない」ことが決まりましたが、ずいぶん混乱が見られるようです。ロータリーの友7月号にジョンF・ジャーム会長の「私は例会の回数よりも、クラブが地域社会にどのような変化を与えるかを問いたい」との発言が掲載されています。人頭分担金の増額も決まっていますのでご承知おき下さい。

クラブを大きなバスに見立てると、ドライバーは会長、ガイド役は幹事、会員さんは自分の居場所である座席があって、このバスは地域を元気にして平和な地球を目指しています。前輪は「親睦と奉仕」、後輪は「財団への寄付と活用」というイメージを持っています。是非ともそれぞれのクラブが和やかに元気な年度になることをご祈念しております。

地区大会のご案内 随行幹事

境港RC 2016~17年度 会長 松本 正 様

地区大会本会議は 10月30日に航空自衛隊美保基地にて開催します。懇親会では、水産の街らしくカニ・マグロ・白イカなどを味わっていただきたいと思っておりますので、是非お出かけ下さい。



■■■ 会長謝辞 ■■■

平田 RC 会長 田中浩史

庄司尚史ガバナー・松本境港ロータリークラブ会長におかれましては、超ご多忙のところ大社・平田の例会においていただきありがとうございます。前日の夜は岡山の美作ロータリークラブの公式訪問だったようですが、どうか公式訪問も道半ばだとは想像しますが、今年度は国際ロータリー規定審議会の案件など、ロータリークラブにとっては大きな局面にきていると想像いたします。どうかお体には充分ご留意され、地区内の公式訪問が無事に終わられることを心よりお祈りいたします。そして、ガバナーは平田にたくさんご縁の深い方で、末永いお付き合いをよろしくお願い申し上げます。